

共感と励まし

愛知教育大学
附属養護学校長

船尾日出志 氏



教育随想

平成十九年四月一日に附養の校長に赴任してから、一週間ほど経過した頃のことです。ある職員から、次のような話を聞きました。「今朝、バス停で二人の女性から養護学校の児童について『最近見かけないが……』というご心配の声をいただきました。」

その職員は、「春休みおよび保護者との登校期間が続いていたので、見かけるチャンスがなかったのです」と伝えたそうです。その際、お二人から児童のためのお守りをいただいたとのこと。附養もまた地域の人々に支えられています。

附養の校門には「この門の向こうにしあわせの道がある」という言葉を刻んだプレートがはめ込まれています。わたしは当初、その言葉の意味を漠然としかイメージできませんでした。しかし、いつしか「その言

葉はうちの職員の決意表明である」との確信を持つようになりました。子供たちが幸せな人生を歩めるようにする。その崇高な使命のためには、身を粉にして尽力する。日々、職員の子供たちへの工夫に富んだ支援を見ておきますと、そのようにしか思えないのです。

附養は年に三回同窓会を行います。六十名を超える卒業生が参加します。その卒業生から「附養は愛です」という言葉を聞いたことがあります。卒業生の口からそういう言葉が自然に出てくる教育を附養では目指しているのです。それが伝統になっています。

この社会では、共感よりも嫉妬が、励ましよりも罵倒が力を発揮すると、勘違いされることがあります。他人を苦しめることに喜びを感じる人すら存在します。しかしよく考え



(ふなおひでし)



平成21年3月1日
3月号

発行・編集
岡崎市教育委員会

今月の紙面

教育随想 1
愛知教育大学附属養護学校長
船尾日出志氏

この人に聞く 2
東京ガールズコレクション実行委員会
チーフプロデューサー
永谷亜矢子氏

羅針盤 2
音楽科指導員 長坂麻奈美

ふれあい 3
六ツ美北中 本多 敦子

1年のあゆみ 4

平成20年度研究発表校・出版物 6

平成20年度教育研究論文入賞者 7

お知らせ 8

フォト・ヒストリー 10
信号機設置渡り初め
(昭和36年)

この本を 10

ふるさとシリーズ この人に聞く



©TOKYO GIRLS COLLECTION 2008 A/W

やり切ることが 成功への道

東京ガールズコレクション実行委員会
チーフプロデューサー

永谷亜矢子 氏

「東京ガールズコレクション」のチーフプロデューサーである永谷亜矢子さんにお話を伺う機会を得た。

「東京ガールズコレクション(TGC)」は、今、国内はもちろんのこと、世界的に注目されているファッションショーである。目の前の人気モデルが着ているリアルクローズ(手ごろでおしゃれな服)を、観客が携帯で購入することができるからである。永谷さんは、そのシステムをゼロから立ち上げた。

「ただのイベントではなく、携帯サイトとショーをつなぎ、携帯やパソコン、テレビなど、様々なメディアから

日本中の女の子に届くイベントにしたいと思いました。」

永谷さんは、大樹寺小学校、岩津中学校で小中学校生活を過ごした。

「小学校では部活動で水泳、中学校では、勉強を頑張っていましたね。伸び伸びと生活しました。普通の子供でしたよ」と話された。小学校では健康優良児。中学校の成績もよかったようだ。

永谷さんは、ずっとファッション関係の仕事をしてきたわけではない。東京の大学に進学。その後、リクルート社に就職した。

「当時、地元で進学し、就職する風潮が強かったのです。でも、私は東京で暮らしたいという気持ちで強く、東京の大学を選びました。就職も一般職ではなく、自分の力を幅広く生かせる職に就きたかったです。」

住宅情報誌の営業、旅行誌の編集などの仕事に精力的に打ち込んだ。

旅行誌の編集では、何度も現地に足を運んで様々な情報を徹底的に集め、読者のニーズにこたえた新しい情報誌を作り、大成功を収めた。

「編集の仕事はつぶしがきく仕事ですから、今の仕事でも大きく役立っています」と、当時を振り返られた。

その後、ITベンチャー会社に入社。携帯サイトの制作や運営、携帯と連動したファッションショーの企画を経験した。この経験とリクルート社



で培われた力が「TGC」の成功につながっている。「TGC」の開催には、千人を超えるスタッフとかわる。

「どの人とも同じ目線で向き合い、真摯に接するようにしています。」

そして、今後の目標を話された。

「日本は、ファッション大国であり、日本の女性のファッションは、世界から注目されています。TGCを通して、更に日本のファッションを世界に発信していきたいと思っています。」

最後に、岡崎の子供たちにメッセージをいただいた。

「まず、自分の目の前のことをきっちりやって形にしていけることです。そのためには、何事に対してもあきらめず、やり切ることが大切です。あきらめぐせをつけてはだめです。やり切れば、失敗しても後悔をすることはありません。」

自ら切り開いた道を力強く歩む永谷さんの言葉が、深く心に刻まれた。

氏 名 ながや あやこ
住 所 東京都在住

羅針盤



子供が学びの主体

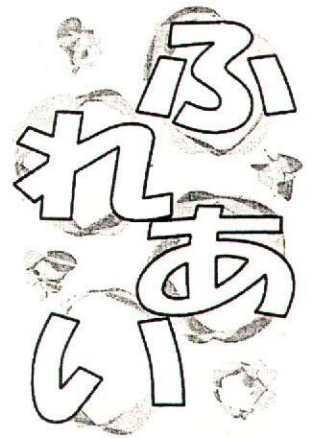
音楽科指導員 長坂麻奈美

A 小学校三年生が、整然と並んで音楽室に入ってくる。担任B先生を見つめ、すかさず「今日もリコーダー吹くの」「今日はどんな曲なの」と子供の声。導入では、「友だち」を歌う元気のよい声が教室内に響き渡る。一番は歌詞唱、一番は階名唱、三番はタンギング唱である。本時の課題の確認、鑑賞と軽快に授業が進み、五分後には展開となる。

黒板に「のはらでどれ」の楽譜が新しく提示される。まず、子供に考えさせる時間を与え、二小節ずつの階名唱が行われる。子供は、楽譜と真剣に向き合う。B先生の後に続いて、リコーダーを吹き始める。

新しい曲への意気込みは熱く、「やっぱり楽しい曲だね」「よし、吹くぞ」「挑戦するぞ」と、子供たちの思いはつぶやきに表れる。

「吹いてみて、気づいたことがあり



「一心全耐」

六ツ美北中 本多 敦子

突然、A男が駅伝部の練習に來なくなった。全国大会出場が決まり、練習にも更に勢いが増してきたときのことだった。

今年から駅伝を始めたA男は三年生。野球部で活躍してきたが、がちりとした体格で、長距離に向いているとは思えない。それでもA男は、入部した。文句や弱音を吐くことなく、黙々と走り続けた。

それほど頑張っていたのに、急に來なくなったA男のことが心配になり教室に行った。教室では、友達と楽しそうに過ごしていた。だが、私の顔を見て、A男の顔は暗く曇った。「練習しないけど、何かあったの」と尋ねると、体をこわばらせながら、ぼろぼろと大粒の涙を流した。決し

て人前で泣くようなタイプではない。「何で走っているのか、分からなくなりました。」

そんなA男の涙に、私自身が驚いた。

八十名近い部員がいて、選手として活躍できるのはほんの一握り。全国を目指してきた本校駅伝部に、妥協など一切ない。野球部では主軸選手として活躍してきたA男に、大会にでるチャンスは來なかった。一、二年生ならば、今年の頑張りを来年につなげられる。でもA男は三年生。目標を見失い、前向きな気持ちがなくなっていた。

「これからどうする」という私の問いかけに、A男は下を向いて何も答えなかった。A男の苦しみが伝わってきた。そんなA男に「選手になって活躍するだけが全てじゃない。最後まで続けることで、きっとA男の中心に残るものがある。毎日一緒に走ってくれるA男の存在も大切」と自分の気持ちを伝えた。「考えて見ます」と言って、教室に戻った。そんな元氣のないA男の心の苦しみに気づき、仲間たちも声をかけ続けてくれた。た。

「先生、大丈夫。心を一つにしてみんなで耐えてきたんだから。A男はち

やんと戻ってきましたよ。」

数日後、A男の姿が戻ってきた。休んでいたA男を、責める者はだれもいなかった。それどころか、A男が戻ってきたことを喜んでいようにも見えた。強さだけではない、優しく温かい雰囲気であった。

そして、三位の快挙を成し遂げた全国大会。ゴールした瞬間、アンカーのB男は、たくさんの想いの詰まったそのたすきを、天にかざした。その傍らには、仲間の頑張りを一杯の応援で後押ししたA男の姿があった。そして、閉会式が行われているなか、選手が使った控え室を、A男は、自ら黙々と掃除し、会場を後にした。「ありがとうね」と言ったとき、「先生、こんなすごい経験させてくれた仲間、こっちがありがとうです」と、笑顔で言った。A男の心の成長がうれしくて涙が止まらなかった。



ますか」とB先生が発問。ほとんどの子供が挙手。「AとCはタンとタタが入っている」「BとDは同じです」「Aのシラシの音が難しい」「BとDでシからの音が難しい」など、黒板にある楽譜まで自ら出て、指し示しながら発表。楽譜上で、リズムとメロディの類似点を次々と発見していく。子供に、個人練習の時間が三分与えられる。子供は、全曲を通して吹く練習はしていない。発表で、互いに出し合った部分を吹きながら、各自で確認していく。

B先生の授業の素晴らしさは、効率的に学び方を身に付けさせている点と、子供が学びの主体となっている点である。子供を的確にとらえることから始まり、一人一人に目を向け、常に寄り添った指導がなくては生まれてこない授業である。授業終了後、子供を音楽室から見送り、授業日記に目を通す。「音楽室で、子供に何をすることができたかを振り返ってしまいます」と、謙虚に言われたのが印象的であった。

新学習指導要領では「習得・活用・探究」が重要な視点となる。今まで以上に、人間形成において音楽（教科）を目的ではなく手段として、学習させるように心掛けたいものである。

平成20年度研究発表校

月日	校名	分野	研究主題	研究概要	研究資料
6月24日	六ツ美北中(市)	教育全般・教育課程	共に学び合い、互いの成長を喜び合える生徒の育成～人間力を育てる教育課程の創造～	人間力を「主体的な生き方ができる力」と定義し、それに迫るために自立力、人間関係力、学習力の3つの力の育成をめざした。方策は、自立力として生き方マップの作成やキャリア学習(総合的な学習)・ふりかえりを生かす道徳、人間関係力としてラボラトリー方式グループワークトレーニング(総合的な学習)、学習力として協同学習(9教科)の実践である。継続観察生徒の変容を追い、検証を行ってきた。	研究物 研究紀要 学習指導案集 助言者 <自立力部会> 愛知教育大学教授 神谷 孝男 先生 <人間関係力部会> 南山大学教授 津村 俊充 先生 <学習力部会> 岡崎市立葵中学校長 菅沼 国雄 先生
10月17日	細川小(市)	国・社・算・理	一人一人が生き生き学ぶ 確かに伸びる ～「細川スタンダード」を生かした魅力ある授業づくり～	「個が伸びる魅力ある授業づくりの具体的方策」について研究を進めた。子供の実態をもとにした指導過程「細川スタンダード」、授業を効果的に進めるための「授業改善20のルール」を中心に、「いつでも、どこでも、だれにでも」できる実践を目指した。	研究物 研究紀要 学習指導案 研究資料(CD) 講師 愛知教育大学教授 土屋 武志 先生 岡崎市立矢作東小学校 宇都宮森和 先生 岡崎市立美川中学校 磯村 彰久 先生 岡崎市立東海中学校 高嶽 利行 先生
10月22日	山中小(市)	教育全般	人間力を高める山中教育 ～自己と向き合い、友とかかわり合い、共に高め合う授業～	人間力を「自己と向き合う力」「かかわり合う力」「追究する力」の3つの力としてとらえ、国語科学習と命かがやき学習(生活科・総合的な学習)を柱として研究を進めてきた。国語科学習で培った「話すこと」「聞くこと」の力を命かがやき学習で生かし、かかわり合い、自己と向き合いながら、人間力の向上へと取り組んだ。	研究物 研究紀要 学習指導案集 助言者 愛知教育大学講師 松山美重子 先生 前岡崎市立連尺小学校長 福應 謙一 先生
11月7日	城南小(自主)	教育全般	ともに高め合い、未来を拓く子どもの育成 ～「絆づくり」を中心としたキャリア教育の推進を通して～	学校生活の中で豊かな人間関係を培い、自己有用感を感じて生活や社会を切り拓いていける子どもの育成を目指し、研究に取り組んだ。協働力を育む「絆づくり」活動の開発、職業観・勤労観を育む城南カリキュラムの展開、学びの自己有用感を醸成する授業づくりについて、3つのプロジェクトを展開し、具体的な手立てを講じて実践を図った。	研究物 研究紀要 学習指導案・資料集 「絆づくり」プログラム資料 講師 鳴門教育大学教授 西村 公孝 先生
11月18日	竜海中(自主)	全教科・特別支援	生徒の学ぶ力を鍛える授業の創造 ～3つの学ぶ場面の展開をはかる～	生徒の学ぶ力を、「学び取る力」「学び込む力」「学び抜く力」の3つの力ととらえ、毎日の授業の中でこれら3つの力を意識した学習活動を仕組もうと取り組んだ。さらに、3つの学ぶ力を1時間の授業の中ですべて意識した授業展開を工夫することで、生徒の学ぶ力を向上させることができると考え、研究実践を試みた。	研究物 研究紀要 学習指導案集 講師(助言者) 根石小 大西 裕子先生 梅園小 松浦 良昭先生 東海中 高嶽 利行先生 矢東小 宇都宮森和先生 南 中 長坂麻奈美先生 北野小 杉原恵美子先生 竜美丘小 小田 英宣先生 岩津中 山田 義仁先生 美川中 石川 敏幸先生 広幡小 岡田 幸夫先生

書名	出版月	著者・編者
算数・数学授業研究 教育実践論文21	平成20年10月	岡崎市算数・数学教育研究部
算数科における「定義や定理」集	平成21年2月	愛教大大学院教授 志水 廣 岡崎市立梅園小学校
活用する力を育てる算数ワークシート集	平成21年3月	横浜国大教授 石田淳一 岡崎市算数・数学教育研究部
六ツ美南部小学校創立100周年記念誌	平成20年11月	六ツ美南部小学校創立100周年事業実行委員会
美合小開校100周年記念誌	平成21年2月	美合小学校開校100周年事業実行委員会
創立100周年記念誌「六ツ美北部小100年」	平成21年2月	六ツ美北部小学校創立100周年記念事業実行委員会
矢作南小学校創立百周年記念誌「矢南の百年」	平成21年3月	矢作南小学校創立百周年記念事業実行委員会

平成20年度教育研究論文入賞者

●個人研究の部

最優秀賞

Table with 4 columns: 氏名, 学校名, 教科領域, 研究主題. Rows include 高山 美保 (体育), 川本 祐二 (社会).

優秀賞

Table with 4 columns: 氏名, 学校名, 教科領域, 研究主題. Lists numerous award winners across various subjects like Japanese, English, Math, and Physical Education.

<論文入賞者数>

Summary table of award counts by school level (小学校, 中学校) and category (個人, 共同).

佳作

Table listing '佳作' (Honorable Mention) winners with columns for name, school, subject, and award type.

●共同研究の部

最優秀賞

Table for '最優秀賞' in the joint research section, listing 坂元 千城 and 山本 照司.

優秀賞

Table for '優秀賞' in the joint research section, listing winners like 須須 文裕 and 北村 文啓.

佳作

Table listing '佳作' winners in the joint research section, including 溝口 了実 and others.

お知らせ

● 派遣研修教員研究報告

本年度も、市内小中学校の教員三名が、派遣研修教員として、それぞれのテーマに従って、県外研修に取り組んだ。

○健康教育の深まりを求めて

美川中 浅井 君枝

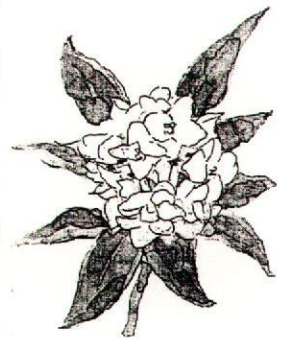
十月二十七日から一週間、筑波大学大学院にて、野津有司教授より、健康教育の推進についての研修を受けた。

①論文の留意点について

健康教育学研究室卒論・修士論文の中間発表会に参加をした。

発表会後の指導では、研究をする意味をはじめとして、根拠を明確にすること、「印象論や心情論」にならないこと、「論を立てる」ことなどの指摘が心に残った。

研究の結果については、明確な「尺度」を用いて、分



析・評価をしなければならぬことを学んだ。

②性教育の意義について

東京都台東区の性教育研究会に参加して、性教育についての野津先生の講演を聞いた。

講演の中では、「性教育ができない障害を理由にして、実践への努力を怠っていないか。性教育は学校という教育機関でしか成しえないものがあり、教師としての仕事であり、意義あるもの」という話が印象に残った。

③養護教諭に託すこと

野津先生は、次のことを強く指導された。

- ・実践報告ではなく、実践的研究をすること。
- ・養護教諭は、ジェネリストとして学校保健に携わることに。

- ・個人的満足ではなく、実践や成果を共有すること。

この研修で、新たな明日への足掛かりを得るとともに、現状に甘んじることなく、切磋琢磨して質を高めることが大切であると、改めて痛感した。

○ピンチをチャンスに

六ツ美南郡小 鈴木 彰

十一月十日からの一週間、大阪大学大学院教授の小野田正利先生のもとで、研修を行った。

小野田先生は、「悲鳴をあげる学校」「親はモンスターじゃない」の著者で、豊富な事例に基づく保護者対応の研究者として知られ、各地で講演活動を行っておられる。

今回、講演会、大学での講義の他、現場の市教育委員会も訪問させていただいた。

なかでも、ロールプレートの実習はたいへん勉強になった。実際に起きた学校へのクレームに対する対応を、親役・担任役・校長役などになって話し合う。こうした技法を用いることで、双方の立場をより実感するとともに、保護者と教師が手を携えて問題解決に取り組むことの重要性

を改めて学ぶことができた。

ただし、教師向けには、解決できない事例があることも示された。その保護者が何らかのパーソナリティ障害を抱えている場合、不当要求がある場合などは、関連する専門家と連携をとり、教師自身の生活を守り、忘れてはならないということも学んだ。

今、各地で保護者対応に苦慮している実態がある。ピンチに立たされる苦情をチャンスだと前向きにとらえていくという熱い想いを教えていた

○「子ども力を高める」

筑波大附属小学校に学ぶ

山中小 富田 好己

今回の派遣研修を受けるに当たって、次の二点を追究したいと考えた。

①筑波大附属小学校算数部の先生方の授業を観察し、新指導要領を見据えた授業展開について研修を深める。

②各地で講演されている先生方のお話を聞き、活用力が育つ算数の授業づくりを考えたい。

①について、筑波大附属小

の先生方の授業展開に共通することは、最初の課題に対して次はどんな課題がでるのか、また、次はどんな式や答えになるかを、子供たちに常に予想させているという点であった。これによって、授業の先を読み、予想しながら意欲的に学習する姿勢ができていくと感じた。また、子供の発言のよさを認め、更にどんな考えなのかを他の子に発表させることによって、考えを広げ深めていくことを学んだ。

②について、活用する力を育てる授業づくりをするためには、活用したくなる場を設定し、活用してよかったという気持ちを持たせることが大切である。そのためには、教材研究力や学習指導力が重要で、「授業力を鍛えること」「活用する力」を育てるポイントであること、さらに、「教師自身が授業を楽しむこと」から授業づくりが始まることを実感した。

今回の研修では、今後の教育の方向性とその価値を実感することができ、有意義な研修となった。

表彰

◆第二十五回伝統的工芸品月間

図画・作文コンクール

(作文の部) 中部経済産業局長賞

愛知県知事賞

矢作中三年 加藤 優

◆テーマはエコ・小学生の絵、作文

文コンテスト・こども環境大賞

佳作 広幡小五年 木村 太郎

◆人を感じる NHKハート・プロジェクト NHKハート展

ロジエクト NHKハート展

入選 小豆坂小三年 河野 亜海

◆全日本剣詩舞演技コンクール

(少年の部)

優勝 矢作中一年 柴田きよ乃

◆平成二十年度全国剣詩舞演技

コンクール

(少年の部)

優勝 矢作中一年 柴田きよ乃

◆龍谷大学青春俳句大賞

審査員特別賞(全国三位)

竜海中三年 中野渡陽平

◆第二十九回中日オープンイン

ドア・アーチェリー大会

(キャディット女子の部)

三位 東海中二年 山田 実央

◆東海インドアソフトテニス大会

三位 河合中二年 長屋 淳史

※全国大会へ

◆愛知県中学校新人卓球大会

(団体女子の部)

三位 北中

◆平成二十年度愛知県アンサンブルコンテスト

クラリネット四重奏)

金賞 竜美丘小学校※

(金管八重奏)

金賞 竜美丘小学校A

金賞 竜美丘小学校B

(クラリネット八重奏)

金賞 竜海中学校※

(金管八重奏)

金賞 竜海中学校

金賞 竜海中学校

金賞 竜海中学校

金賞 竜海中学校

金賞 竜海中学校

金賞 竜海中学校

金賞 竜海中学校

金賞 竜海中学校

金賞 竜海中学校

金賞 竜海中学校

金賞 竜海中学校

金賞 竜海中学校

金賞 竜海中学校

金賞 竜海中学校

金賞 竜海中学校

金賞 竜海中学校

金賞 竜海中学校

金賞 竜海中学校

金賞 竜海中学校

※全国審査へ

◆第二十五回愛知県ジュニア綱

引き選手権大会

(ジュニアの部三六〇kg以下級)

優勝 梅園六年 梅園3B

準優勝 梅園六年 梅園ゴットハンド

◆第十七回上廣道德教育賞

(既存受賞の部)

最優秀賞 六名小 本郷 一毅

(小学校の部)

優秀賞 六美北小 大橋喜代美

佳作 豊富小 鈴木紀子

(中学校の部)

優秀賞 北中 伴 巨裕

◆第二十五回道徳と特別活動の

教育研究賞(教師の部)

優秀賞 井田小 佐野 恵広

●第一回岡崎ジュニア

アンサンブルコンクール

明大寺本町の青少年センタ

ー「太陽の城」で、二月八日

に管弦打楽器部門、十一日に

コーラス部門が行われ、市内

の小中学生が集まり、白熱し

た発表を披露した。

本大会は、本年度より、岡

崎の音楽教育の発展と子供た

ちの演奏技術向上を目指して

実施。また、太陽の城が設立

三十周年を迎え、今後も青少

年が集う場として有効に活用

※全国審査へ

されることを願い、本会場で
の開催となった。

管弦打楽器部門では、小学

校六校、中学校九校、のべ四

十一団体が参加した。また、

笛太鼓演奏、マリンバ重奏、

リコーダー重奏と多岐にわた

る発表が行われ、各団体の特

徴が生かされた楽しいコンク

ールとなった。

中でも、来年度の統合が決

まっている千万町小学校は、

全校児童五名が出演し、マリ

ンバの演奏を披露。見事「市

長賞」に輝いた。

審査の結果は次のとおり。

(管弦打楽器部門)

市長賞

千万町小マリンバ五重奏

竜海中金管八重奏

議長賞

大樹寺小笛和太鼓十重奏

岩津中サキソフォン三重奏

教育委員会賞

矢作南小金管五重奏

竜海中クラリネット八重奏

東海愛知新聞社賞

北野小リコーダー六重奏

城北中弦楽六重奏

優秀賞(学校名のみ)

岡崎小、矢作南小

岩津中、竜海中、岩津中
福岡中、城北中、矢作中

(コーラス部門)

市長賞

三島小C 南中A

議長賞

大樹寺小A 矢作北中C

教育委員会賞

大樹寺C 竜海中

東海愛知新聞社賞

矢作南小D 矢作北中A

優秀賞

広幡小、矢作南小A

竜美丘小B 矢作東小C

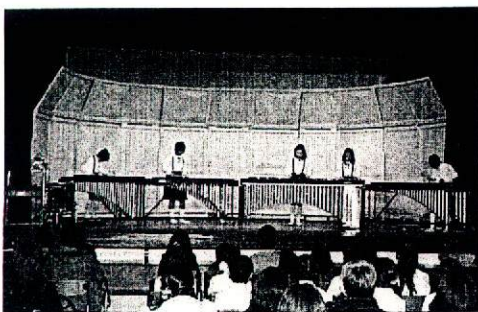
六ツ美北中C 矢作中B

南中B、C

来年度も二月初旬の開催予

定である。一層多くの子供た

ちの活躍が期待される。



▲ 千万町小学校マリンバ五重奏

・カ
ッ
ト
甲
山
中
畔
柳
と
も
子

信号機設置渡り初め

(昭和36年)

写真提供：山中小学校

山中学区は、昭和二十七年、国道一号线の開通により、年ごとに交通量が増加し、児童の国道横断が危険となってきた。そこで、昭和三十五年に学童用シグナルが設置され、その翌年には信号機に替わった。写真は、信号機設置を学区挙げて喜ぶとともに、交通安全を願って行われた渡り初めのパレードである。

この後、昭和四十二年には歩道橋が設置され、「交通安全対策基本法」の制定により、通学路の指定やスクールゾーンも設けられた。さらに、昭和五十三年には地下道も開通し、児童の安全がいつそう図られるようになった。

フォトヒストリー

岡崎の教育



オオイヌノフグリが道端に咲く三月。この一年もまた、学校を舞台に数多くのドラマがあった。高い目標を掲げ、努力を積み重ねてつかんだ数々の栄光の足跡は今も燦然と輝く。しかし、努力が実らず、悔し涙を流した跡も道端のコバルトブルーの花のように小さくとも美しい。

「しん友」「しん」にどんな字を当てようか。三月は友との別れの季節。出会いの頃はみな「新友」だった。そして「進友・賑友・親友」となり、時に「辛友」を経て「信友・心友・深友・真友」となっていく。桜のつぼみの膨らむ季節。よき別れの先に、きっと良き新友が待っている。

シオ スア

あと何日、この子たちと過ごせるのだろうか。卒業学年を受け持つと、三月はどうも、一つの出来事に感傷的になってしまふ。手をやいた子、衝突してしまった子、担任を思い、よく動いてくれた子……。どの子の背中也、一杯押し、新たな旅立ちを祝ってやりたい。胸を張って「前へ進め！」

「好きな選手は、イチロー」と目を輝かせて野球少年が言う。野球好きならずとも、「WBC」の開幕は待ち遠しい。疑惑の判定に泣きながらも、不屈の精神で優勝を勝ち取った前回の大会を思い出す。暗い話題が続くこのごろ。ドリームチームの活躍は、元気を与えてくれるにちがいない。

この本を

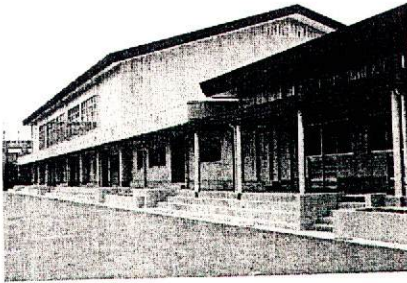
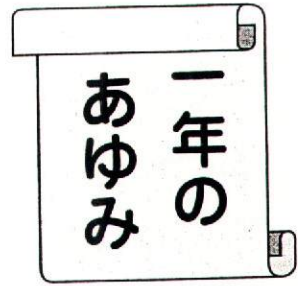
- * 横綱の格式 秋葉 龍一 ¥998
主婦と生活社
- * 心眼力 野口 嘉則 ¥1,680
サンマーク出版
- * 裁判官の爆笑お言葉集 長嶺 超輝 ¥756
幻冬舎
- * 失敗学のすすめ 畑村洋太郎 ¥560
講談社

- * 3つの真実 野口 嘉則 ¥1,300
ビジネス社

「本当の自分とは、本当の幸せとは何だろう」。人生で初の窮地に追い込まれた男と、その前に現れた不思議な老人とのやりとりの中に読者も自然と引き込まれ、一緒に考えさせられてしまう。

「人のつながり・愛・怖れ・自尊心……」読み進めていくうちに数々のキーワードが結びついていき、それに合わせて自己理解を深めるとともに、周りの人の存在を愛おしく感じさせてくれる一冊である。

奥殿小 坂部 良二



新装なった美川中学校体育館



姉妹都市交流四十周年を迎えるウッデバラ市への中学生親善訪問

4・1	辞令伝達式 新規採用教員95名	4・1	打楽器六重奏 優秀賞 矢作中
4・5	第6回ジュニア打楽器アンサンブルコンクール	4・5	トランペット独奏 優秀賞 電海中3・鈴木沙彩
4・14	現職研修委員会総会(美川中)	4・14	フルート独奏 優良賞 電海中3・谷澤麻美
4・19	第20回音楽器個人重奏コンテスト	4・19	ユイフォニウム 優秀賞 南中3・山下奈弥
4・22	第28回ホームソング中高校生作品コンクール	4・22	文部科学大臣賞 南中
4・24	第2回全国学力・学習状況調査	4・24	
5・4	第11回日本キヤデットアーチェリー大会	5・4	
5・17	第52回愛知県ジュニアアゲートボール大会	5・17	
6・6	第4回青てープリントコミュニケーションコンクール	6・6	
6・15	第25回NHK杯全国中学生放送コンテスト愛知県大会	6・15	
6・17	第13回愛知県ジュニアアゲートボール大会	6・17	
6・24	第4回青てープリントコミュニケーションコンクール	6・24	
7・5	第15回愛知県中学校カヌー大会	7・5	
7・8	第7回トム・ソーヤスクリーン企画コンテスト	7・8	
7・12	第19回伊藤園おおいお茶新俳句大賞	7・12	
7・18	第15回愛知県中学校カヌー大会	7・18	
7・20	第19回伊藤園おおいお茶新俳句大賞	7・20	
7・22	第15回愛知県中学校カヌー大会	7・22	
7・25	第15回愛知県中学校カヌー大会	7・25	
7・27	第15回愛知県中学校カヌー大会	7・27	
7・31	第15回愛知県中学校カヌー大会	7・31	
8・5	第15回愛知県中学校カヌー大会	8・5	